

Auto Power Reset 自動パワーリセット

IPカメラや無線アクセスポイントの偶発的なフリーズ現象を解決するためにデバイスのパワーリセットをしなければならないケースに遭遇していませんか？

トランジション ネットワークス社のスイッチはその手間を解消することができます！

トランジション ネットワークス社のAPR機能によって：

- セキュリティ監視とネットワークの運用停止時間。
- デバイスの電源再投入のためだけに人材を派遣しなければならないコストと時間。
- 設置場所によっては街路灯などの高所にあるため特別な機材を用意しなければならない。
- パワーリセットの作業時間の平均は30～60分である。
- 作業現場までに入念なるセキュリティチェックを通過しなければならないケースが多い。

ではどうやって自動でパワーリセットを行うのか？

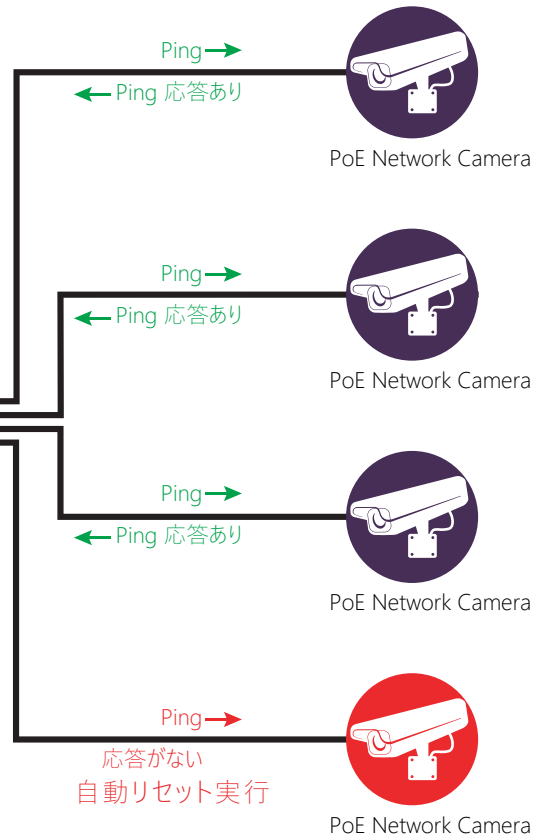
自動パワーリセットの仕組みは単純明快、自動的に各デバイスにスイッチ自身がPingによる死活監視を行い、応答の無くなっているデバイスのPoE給電をトグル操作して電源の再投入を行います。

APR Configuration

Port	Ping IP Address	Interval Time(sec)	Retry Time	Failure Log	Failure Action	Reboot Time(sec)
1	192.168.1.1	30	3	error=0 ,total=0	Reboot Remote PD	15
2	192.168.1.2	30	3	error=0 ,total=0	Reboot Remote PD	15
3	192.168.1.3	30	3	error=0 ,total=0	Reboot Remote PD	15
4	192.168.1.4	30	3	error=0 ,total=0	Reboot Remote PD	15
5	192.168.1.5	30	3	error=0 ,total=0	Reboot Remote PD	15
6	192.168.1.6	30	3	error=0 ,total=0	Reboot Remote PD	15
7	192.168.1.7	30	3	error=0 ,total=0	Reboot Remote PD	15
8	192.168.1.8	30	3	error=0 ,total=0	Reboot Remote PD	15



PoE Switch



自動パワーリセット 対応製品

		ポート数	AC電源内蔵	マネージド	産業用堅牢製品	大量生産品	POE+	自動パワーリセット	POEパワーバジェット
PoEスイッチ製品									
SM8TAT2DPB	(8) 10/100/1000Base-T PoE および (2) 100/1000Base-X SFP/RJ-45 コンボ・ポート	10	○	○		○	○	○	130W
SM16TAT2DPA	(16) 10/100/1000Base-T PoE+ および (2) 100/1000Base-X SFP/ RJ-45 コンボ・ポート	18	○	○		○	○	○	370W
SM24TAT4XA	(24) 10/100/1000Base-T PoE+ および (4) 1G/10G SFP スロット	28	○	○		○	○	○	370W
SISPM1040-382-LRT	(8) 10/100Base-TX PoE+ および (2) 10/100/1000Base-T または 100/1000Base-X SFP コンボ・ポート	10		○	○		○	○	240W
SISPM1040-362-LRT	(4) 10/100/1000Base-T PoE+, (2) 10/100/1000Base-T RJ-45, および (4) 1000Base-X SFP スロット	10		○	○		○	○	120W
SISPM1040-384-LRT-C	(8) 10/100/1000Base-T PoE+ および (4) 1000Base-X SFP スロット	12		○	○		○	○	240W
SM8TAT2SA	(8) 10/100/1000Base-T PoE+ および (2) 100/1000Base-X SFPスロット	8	○	○		○	○	○	130W
SM16TAT2SA	(16) 10/100/1000Base-T PoE+ および (2) 100/1000Base-X SFPスロット	16	○	○		○	○	○	250W
SM24TAT2SA	(24) 10/100/1000Base-T PoE+ および (2) 100/1000Base-X SFPスロット	24	○	○		○	○	○	370W

* すべてのPoEポートが必ずしも同時にPoE+で出力できるわけではない。
PoE給電タイプはデータ線と共用のタイプAです。(すべて)

* ネットワーク・レイヤー2の製品です。(すべて)

* SISPM産業用PoE製品には、さまざまな電力容量と動作温度範囲を持った産業用電源の選定が必要です。
(DC53~57V入力が必要；電源が別途用意があれば必ずしも選定の必要はありません)